

新潟市における ワーク・ライフ・バランスの実践

2017.1.30

新潟市

新潟市全体でワークライフバランスを推進しなければならない理由

◎本市の活力を維持していくためには、人口減少を抑制しなければならない

ワーク・ライフ・バランス + 地方都市新潟のメリット



①魅力のある就労環境を実現

- ⇒ 転入・転出の状況を改善
- ・若年層の市外転出（特に首都圏）を抑制
 - ・市外からの転入を増加（UIターンを促進）

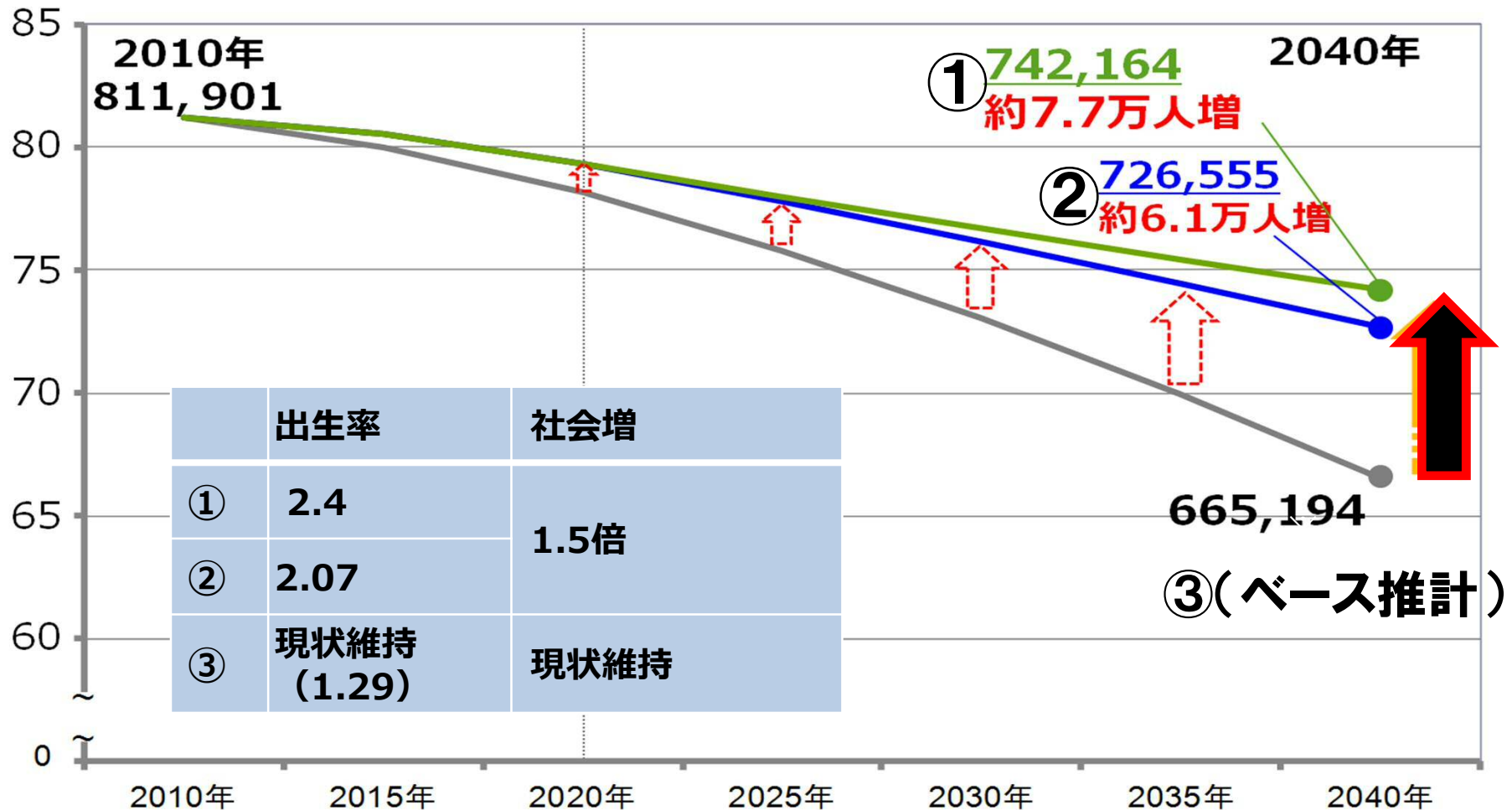
②より子育てしやすい環境を実現

- ⇒夫婦が理想とする子どもの数と実際にもつつもりの子どもの数の差(0.32)を縮小。

新潟市人口ビジョン

人口の将来展望

人口 (万人)



市の現状を反映させた独自推計

暮らしについての首都圏比較

東京一極集中の限界 → 際立つ「新潟暮らしの良さ」

¥ お金

初任給は低いが
家賃や物価が安い。



平均初任給(大卒)

新潟 191,600円
(新潟県)

東京 208,500円



一ヶ月あたり家賃(間取り1K)

新潟 55,764円

東京 91,782円



家賃を除いた物価指数
(東京を100として算出)

新潟 95.6

東京 100.0



時間

通勤時間が短く、余暇時間も充実



仕事

新潟 561分/日
(新潟大都市圏)

東京 544分/日
(東京都)



通勤・通学

新潟 片道 25分
(新潟大都市圏)

東京 片道 50分
(東京都)

政令市
No.1



余暇時間

新潟 330分/日
(新潟大都市圏)

東京 313分/日
(東京都)

本市の取組 ①事業主としての取組

- ・年次有給休暇の取得を奨励
- ・時間外勤務の縮減
 - ⇒定時退庁日の設定
 - ⇒時間外勤務の見える化(職員相互に)
- ・男性職員の育児休業取得促進
 - ⇒H27年度11.5% (市内企業の平均5.4%)
- ・イクボス研修
- ・新潟市イクボス宣言(H28年6月実施)

本市の取組 ②市内の企業の取組を支援

《主な取組》

- ・企業へのコンサルタント派遣
- ・男性の育児休業取得促進事業奨励金
- ・優秀事業所の表彰
- ・ワーク・ライフ・バランス推進啓発パンフレットの配布

など

《推進のための協議体》

- ・新潟市ワーク・ライフ・バランス推進協議会

⇒経済団体、労働団体、社会保険労務士会、関係行政機関で構成

ワーク・ライフ・バランスを 新潟市全体で推進するために

《協議体》
新潟市WLB推進協議会

